SONY

3-859-869-**07**(1)

ラジオカセットコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

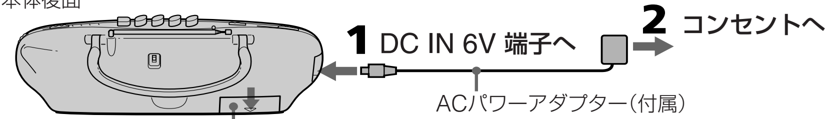
⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

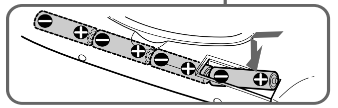
CFS-E2TV

電源を選ぶ

家庭用電源で使う

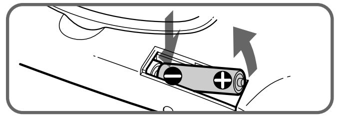


乾電池で使う



別売りの単3形乾電池4個を入れます。

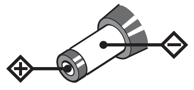
電池の取り出し方



⊖ 側を押して取り出します。



ご注意
- 乾電池で使うときは、ACパワーアダプターを本機から抜いてあることを確かめてください。ACパワーアダプターをつないでいると、乾電池では使えません。
- 乾電池が消耗してくると、電源／電池ランプが暗くなってきます。乾電池をすべて新しいものと交換してください。
- この製品には、付属のACパワーアダプター(極性統一形プラグ・JEITA規格)をご使用ください。それ以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。



主な仕様

受信周波数　TV：4～12CH
FM/TV：76～108 MHz（1～3CH）
AM: 530～1,629 kHz
アンテナ　FM/TV: ロッドアンテナ
AM: フェライトバーアンテナ内蔵

> 地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

トラック方式　4トラック2チャンネル ステレオ
周波数範囲　100～10,000 Hz (JEITA*)
早巻き時間　約2分30秒 (ソニーカセットテープC-60使用)
スピーカー　フルレンジ：5.7 cm コーン型　12 Ω
出力端子　ヘッドホン(ステレオミニジャック)、負荷インピーダンス 8～32Ω
実用最大出力　1 W + 1W (JEITA)

電池持続時間（JEITA）

使用乾電池	FM録音時	テープ再生時**
ソニーSUM-3 (NS)	約2時間	約1.5時間
ソニーアルカリAM-3 (N)	約5時間	約4時間

電源　家庭用電源（AC 100 V、50/60 Hz）
単3形乾電池4個使用（DC 6 V）
消費電力　DC 4W
最大外形寸法　約285 x 101 x 58 mm（幅／高さ／奥行き）（最大突起部含む）（JEITA）
質量　本体　約620 g
ご使用時　約750 g（乾電池、テープ含む）
付属品　ACパワーアダプター（1）、取扱説明書（1）、ソニーご相談窓口のご案内（1）、保証書（1）
別売アクセサリー　ヘッドイレーサー・クリーナー HE-6C
クリーニングキット KK-41

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。
** 音量7分目程度

故障かなと思ったら？

修理に出す前に、もう一度次の点検をしてください。

音が出ない
- ACパワーアダプターをしっかり差し込む。
- 乾電池を正しく入れる。
- 乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。
- ヘッドホンを🎧(ヘッドホン)端子から抜く。
- 音量を調節する。
- ファンクション切換スイッチを正しい位置にする。

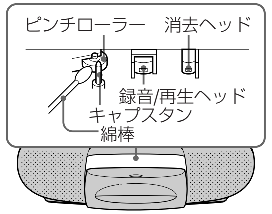
雑音が入る
- 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。→携帯電話などを本機から離して使用する。

テレビ放送が聞こえない。
- 地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

カセットが入らない
- カセットを正しく入れる。
- ■停止ボタンを押して、◀再生ボタンを解除する。

●録音ボタンが押せない
- デッキにカセットを入れる。
- 入れたカセットのツメが折れていたら、穴をセロハンテープなどでふさぐ。

再生、録音、消去の質がひどい
- ヘッドが汚れている。市販の綿棒や柔らかい布にクリーニング液を軽く含ませて、下図に示されているテープが触れる面を軽くふく。
- ヘッドが磁化されている。別売りのヘッドイレーサー・クリーナーを使ってヘッドを消磁する。
- TYPE II (ハイポジション)、TYPE IV (メタル) テープを使っている→録音できるテープはTYPE I (ノーマル) のみです。



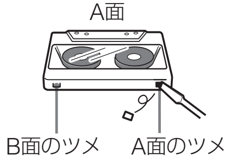
使用上のご注意

取り扱いについて
- 本機のスピーカーには強力な磁力を使っていますので、次のようなものは本機のそばに置かないでください。
  - 時計
  - クレジットカードなどの磁気カード
  - カセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープ
- カセットデッキを長い間使わなかったときは、はじめに数分間再生状態にして、ならし運転をしてください。よい状態でお使いいただけます。

ACパワーアダプターについて
- コードを無理に曲げたり、上に重い物をのせたりしないでください。
- アダプターを抜くときは、コードを引っ張らずに、アダプター本体を持って抜いてください。
- 長い間使わないときは、アダプターをコンセントから抜いてください。

大切な録音を守る－誤消去防止

ツメを折ると録音ができなくなるので、誤って録音内容を消してしまうミスが防げます。穴をセロハンテープなどでふさげば、再び録音できます。



長時間テープをお使いのときは

90分を越えるテープは長時間使用には便利ですが、薄く伸びやすいテープです。こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しなどを繰り返すと、テープが機械に巻き込まれる場合がありますので、ご注意ください。

エンドレスカセットテープについて

エンドレスカセットテープはお使いにならないでください。機械に巻き込まれる場合があります。

保証書とアフターサービス

保証書

●この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。●所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。●保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを　この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ　お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は　保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は　修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではラジオカセットコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。
http://www.sony.co.jp/support

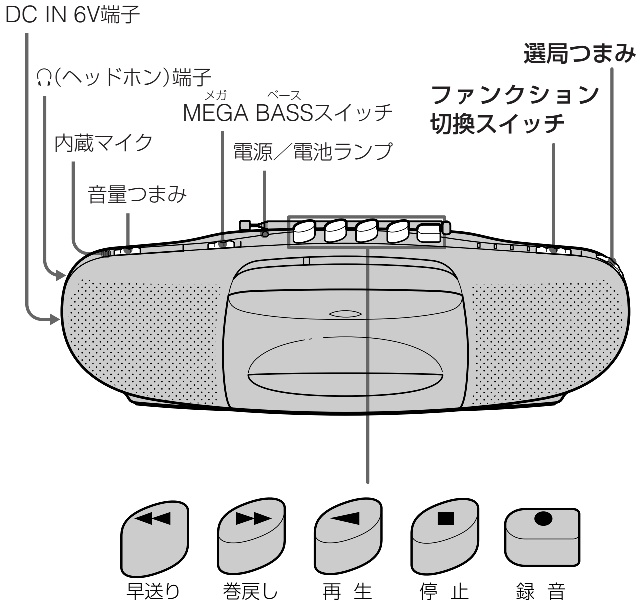
使い方相談窓口
フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ 0466-31-2511

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「304」＋「#」
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389
受付時間 月～金:9:00～20:00 土・日・祝日:9:00～17:00

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

各部のなまえ



⚠注意 カセットぶたの開閉は本体を支えながら行なってください。支えていないと本体が倒れることがあります。

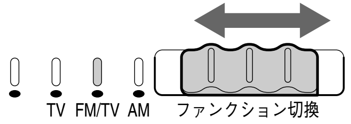
録音についてのご注意
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- ラジオカセットコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

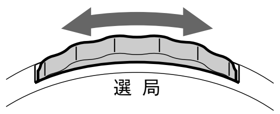
テレビ放送の受信についてのご注意
地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

ラジオを聞く

1 FM/TVかAMまたはTVを選ぶ



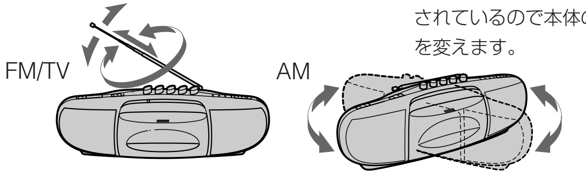
2 聞きたい局に合わせる



ラジオを消すには
ファンクション切換スイッチを「テープ／ラジオ切」にする。

受信状態を良くするには
アンテナを調節する。

AMアンテナは本体に内蔵されているので本体の向きを変えます。

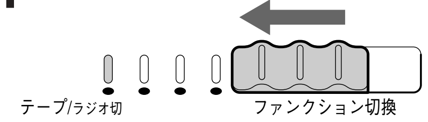


ちょっと一言
ヘッドホンで聞くには、ヘッドホンを∩(ヘッドホン)端子に差し込みます。

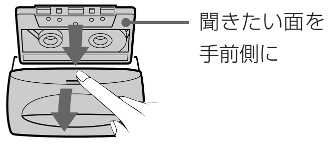
ご注意
- テレビの近くでAM放送を聞くと、AM放送に雑音が入ることがあります。また、室内アンテナを使用しているテレビの近くで、本機でFM/TV放送を聞くと、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。
- 本機のテレビ音声受信回路は、FM放送の受信回路と兼用になっています。このため一部の地域ではテレビの2または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。その場合には、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

テープを聞く

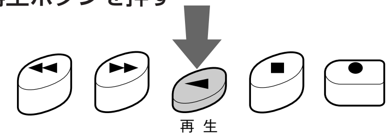
1 テープ／ラジオ切にする



2 カセットを入れる



3 ◄再生ボタンを押す



操作	押すボタン
再生を止める	■停止 テープを最後まで巻き取ると自動的に止まります。
早送りや巻戻しをする	◄◄早送り、または►►巻戻し*

* テープを巻き終えたら、■停止ボタンを押して、◄◄早送り、►►巻戻しボタンを解除します。

重低音を強調するには
MEGA BASSスイッチを「入」にします。

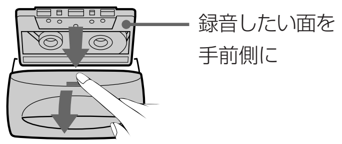
TYPE I (ノーマル)テープをお使いください。

録音する

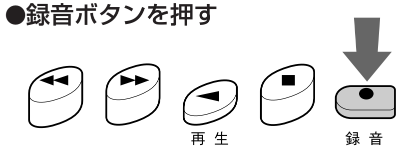
1 **ラジオを録音するとき** 録音したい局を受信する。

内蔵マイクから録音するとき ファンクション切換スイッチを「テープ／ラジオ切」に合わせる。

2 カセットを入れる



3 ●録音ボタンを押す



操作	押すボタン
録音を止める	■停止 テープを最後まで巻き取ると自動的に止まります。

良い受信状態で録音するには
AM放送を録音中、ラジオを聞いていたときには出なかった雑音(ビート音)が聞こえたら、後面のISSスイッチを切り換えて、雑音が消える位置(1、2または3)にしてください。

ちょっと一言
- 録音するときは、乾電池ではなくACパワーアダプターの使用をおすすめします。
- 音量を変えても、録音される音は変わりません。

ご注意
マイクから録音しているときは、ヘッドホンで聞くことはできません。